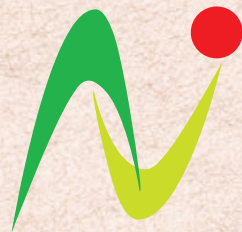


なかがわ

広報

2013. 1



No.88

- 新年あいさつ 2
- 年おとこ年おんなの今年の抱負 4
- 町政（まちづくり）懇談会を開催 6
- 所得税・住民税の申告はお早めに 8
- 第6回那珂川町第九を歌う会演奏会 10
- 第31回ゆりがねマラソン大会 11



広報 Koho Gallery
展示室

第88回

企画展
にせむらさき い なかげん じ
源氏絵の世界 — 修紫田舎源氏 —

「源氏絵」と聞いて、
まず思い浮かべるのは平
安時代の雅な『源氏物語
絵巻』かもしれません。

しかし、江戸時代後期に大流行した「源氏絵」は、
柳亭種彦の小説『修紫田舎源氏』の主人公足利光氏
を描いた浮世絵でした。

『修紫田舎源氏』は、『源氏物語』を室町時代に置
き替え、光氏の好色遍歴にお家騒動を絡めた物語で
す。文政12年（1829）に発行されるとたちまちベス
トセラーになりますが、時の将軍徳川家斉の大奥生活
を風刺しているという噂が立ち、天保の改革で発売禁
止となります。しかし、そんな事件にもかかわらず光
氏の人気は高まる一方で、その後も多くの浮世絵師た
ちによって源氏絵が作り続けられました。

図は、三代歌川豊国が描いた源氏絵シリーズ「今源
氏錦絵合」の一枚で、『源氏物語』第八帖「花宴」に
因んだものです。春の宴の後、光氏は艶やかで奔放な
女性、桂樹と出会います。酔っぱらった桂樹の前で光
氏は桂樹の亡き恋人石堂馬之丞の霊が憑いたように装
い、桂樹の浮薄な身持ちをたしなめる場面です。

本展では、三代歌川豊国の作品を中心に源氏絵をご
紹介します。当時の若者に影響を与えた光氏の髪型や
洒落た装いにも注目して源氏絵の世界をお楽しみくだ
さい。 馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子



三代歌川豊国 「今源氏錦絵合 花宴 八」

- 【会 期】 1月25日(金)～3月3日(日)
【休 館 日】 1月28日(月)、2月4日(月)、12日(火)、
18日(月)、25日(月)
【ミュージアムトーク】
日時：1月26日 午後1時30分～
(当館学芸員)
【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は4時30分まで)
【入 館 料】 大 人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)
※()は20名以上の団体料金。
※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名
は半額

ミニギャラリー

平成23年度那珂川町観光写真コンテスト 受賞作品

ミニギャラリー
作品募集!

あなたの作品をここに展示し
てみませんか?
絵画、写真、絵手紙、手芸など
の作品をお待ちしております。
申込み・問合せ…企画財政課
☎0287-92-1114



下野新聞社賞「厳冬」

菊池専一郎さん(矢又)
撮影場所：小口



入選「冬の夢花火」

久保庭隆夫さん(茂木町)
撮影場所：小川